水稲の生育状況と今後の管理対策（第２号）

令和元年６月 11 日
新潟県農林水産部

〔要約〕

コシヒカリ・こしいぶき

◎　コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、生育が早く、茎数が多くなっています。特に葉色が濃い状況です。

◎　コシヒカリ・こしいぶきは、ただちに茎数を確認し、速やかに中干し（なかぼし）*1 を開始しましょう。

◎　生育量が大きくなっているほ場では、強めに中干しを行いましょう。

つきあかり・ゆきん子舞

◎　つきあかり・ゆきん子舞の多収栽培には、一定の穂数の確保が必要です。茎数が目標穂数*2 の８割に達してから中干しを開始しましょう。

*1 中干し：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

*2 つきあかりの目標穂数は㎡当たり 400 本、ゆきん子舞は 470 本。

［６月 10 日現在の生育］

○　コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈が「やや長い」、茎数が「多い」、葉数の進みが「早い」、葉色は「濃い」状況で、生育は５日程度早まっています。

○　長岡市に設置した調査ほ場では、茎数は指標値に比べ、つきあかりが「並」、ゆきん子舞が「多い」、こしいぶきが「多い」状況です。

［今後の生育見込み］

○　６月６日発表の１か月予報（６月８日から７月７日まで）によると、平均気温は平年並か高く、降水量・日照時間はともに平年並の見込みです。

○　６月 10 日発表のエルニーニョ監視速報では、夏にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高いと発表されています。エルニーニョ現象により、夏期の低温や日照不足が発生した場合には、登熟が抑制される可能性があります。

○　北陸地方は平年よりも５日早く、６月７日ごろに梅雨入りしたと見られます。梅雨入り後は、降雨と曇天が続くため、中干が不十分となり、茎数の増加や草丈の伸長が予想されます。

［当面の管理対策］

○　生育過剰により品質が低下する可能性があります。ただちに茎数を確認し、速やかに中干しを開始しましょう。

　また、溝切も確実に実施しましょう。

○　中干し開始のめやすは、コシヒカリは、目標穂数の７～８割に達した時期で、生育が過剰になりやすいほ場では６～７割に達した時期です。

　こしいぶき、つきあかり、ゆきん子舞などは、目標穂数の８割に達した時期です。

　目標穂数は地域ごとに異なります。農業普及指導センターや JA からの技術情報を確認してください。

○　中干しは、田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度とします。ただし、生育量が大きくなっているコシヒカリは強めに中干しを行い、茎数の増加を抑えましょう。

○　コシヒカリ BL 以外の品種で、いもち病の箱施用剤を使用していない場合は、必ず葉いもち防除を行いましょう。

○　補植苗は、葉いもちの伝染源になるので、速やかに除去しましょう

○　天水田等用水が不足しているほ場は、水路や畦畔からの水漏れがないか、排水口が閉じているかを点検し、漏水防止に努めましょう。

◎　今後の管理対策発行予定日

６月 21 日、７月２日・11 日・19 日・26 日・31 日、８月 21 日、９月 11 日

〔補足資料〕

１　農業普及指導センター及び作物研究センターにおける生育状況

○　コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈が「やや長い」、茎数が「多い」、葉数の進みが「早い」です（表１）。
○　茎数は、つきあかりは「並」、ゆきん子舞は「多い」、こしいぶきは「多い」状況です（表２、表３、表４）。

（１）コシヒカリ

表１　県内全域のコシヒカリ生育調査ほ調査結果（６月 10 日現在）

項目	本年値	指標値（県平均）	指標値との比較	指標値比・差
草丈	32 cm	30 cm	やや長い	107%
茎数	298 本/㎡	222 本/㎡	多い	134%
葉数	7.7 葉	6.8 葉	早い	+0.9 葉
葉色（SPAD 値）	39.5	36.9	濃い	+2.6

注）県内全域の生育調査ほデータの平均値

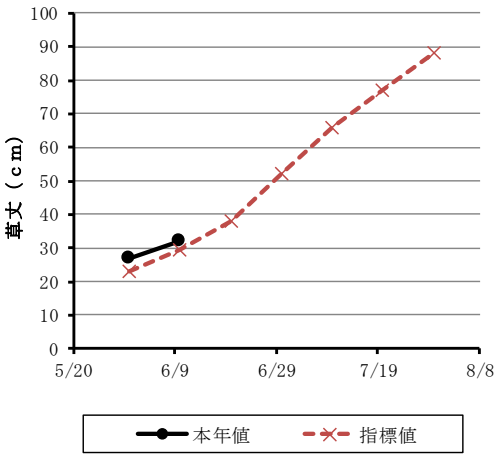

図１　コシヒカリの草丈の推移（県全体）

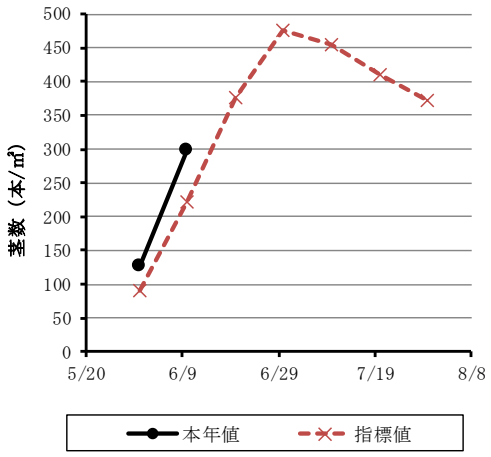

図２　コシヒカリの茎数の推移（県全体）

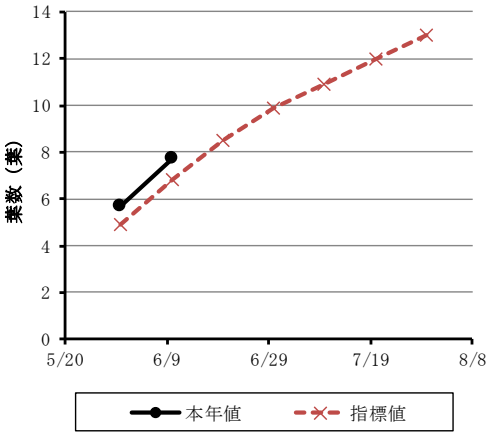

図３　コシヒカリの葉数の推移
（県全体）

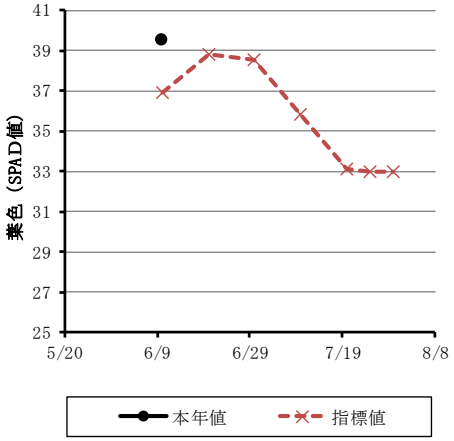

図４　コシヒカリの葉色の推移
（県全体）

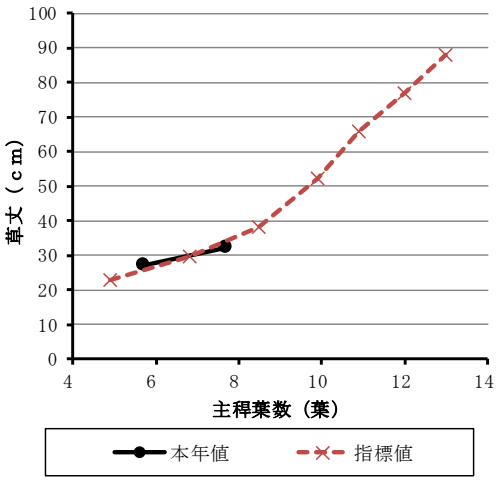

図５　コシヒカリの葉数と草丈
（県全体）

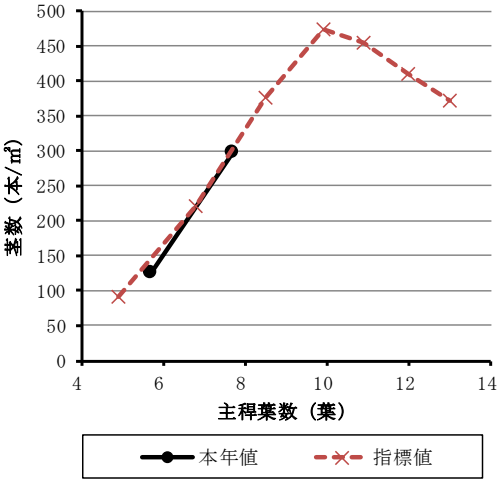

図６　コシヒカリの葉数と茎数
（県全体）

（２）つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶき

表２　つきあかりの生育調査ほ調査結果（６月 10 日現在）

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	39 cm	37 cm	やや長い	105%
茎数	312 本/㎡	300 本/㎡	並み	104%
葉数	8.2 葉	7.8 葉	やや早い	+0.4 葉
葉色（SPAD 値）	42.8	42.0	並み	+0.8

注１）化成肥料栽培。田植え５月８日、栽植密度は 21.2 株/㎡

注２）基肥窒素成分量　7.0kg/10a

注３）長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

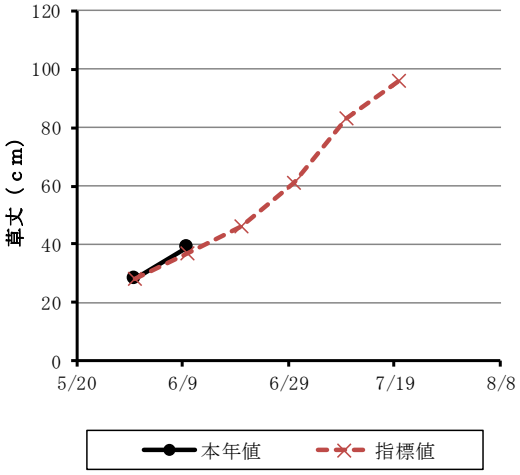

図７　つきあかりの草丈の推移（長岡市）

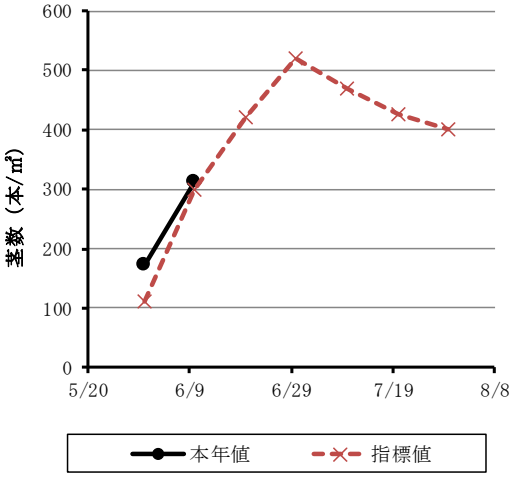

図８　つきあかりの茎数の推移（長岡市）

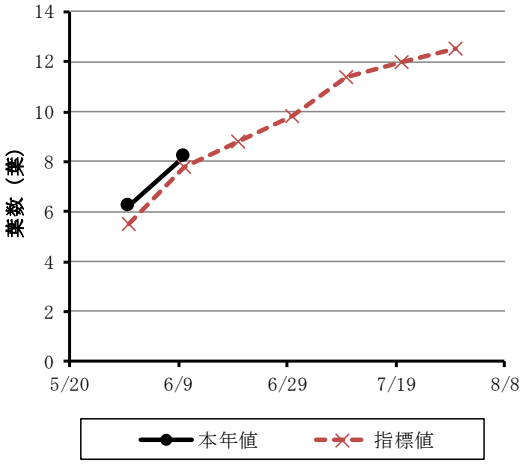

図９　つきあかりの葉数の推移（長岡市）

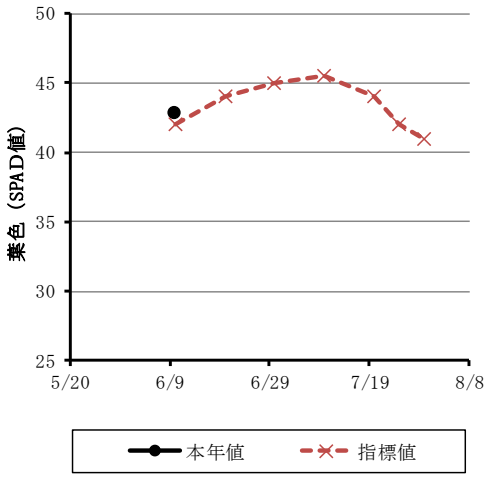

図 10　つきあかりの葉色の推移（長岡市）

表３　ゆきん子舞の生育調査ほ調査結果（６月 10 日現在）

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	35 ㎝	35 ㎝	並み	100%
茎数	442 本/㎡	380 本/㎡	多い	116%
葉数	8.8 葉	8.0 葉	早い	+0.8 葉
葉色（SPAD 値）	42.9	40.0	濃い	+2.9

注１）化成肥料栽培。田植え５月１日、栽植密度は 18.8 株/㎡
注２）基肥窒素成分量 2.8kg/10a(前作枝豆)
注３）長岡市高野町の生育調査ほデータ

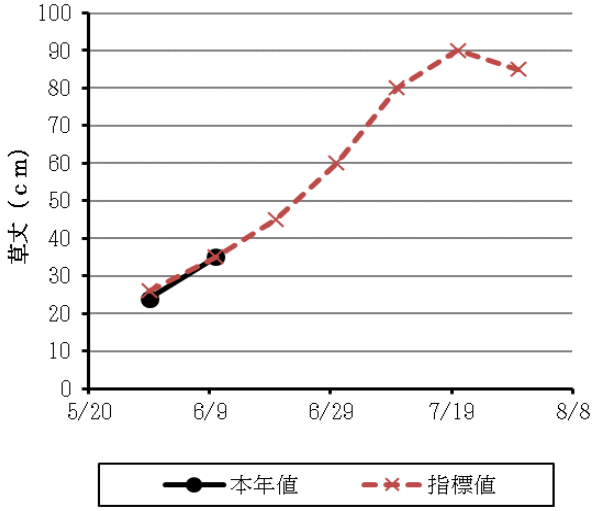

図 11　ゆきん子舞の草丈の推移
（長岡市）

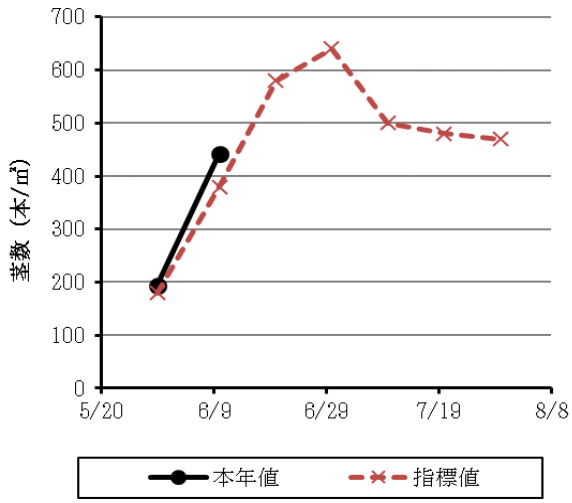

図 12　ゆきん子舞の茎数の推移
（長岡市）

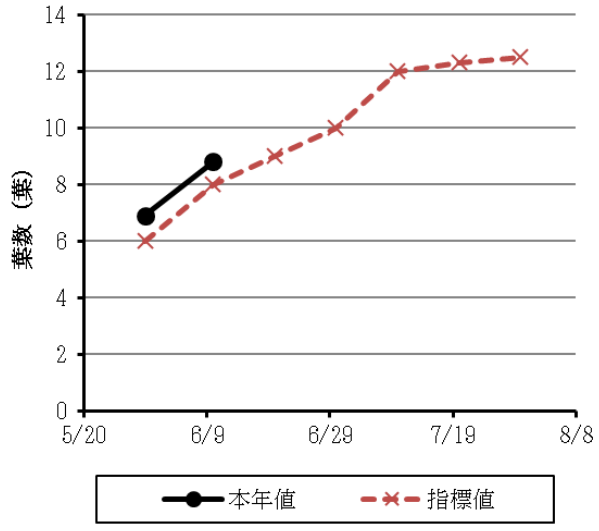

図 13　ゆきん子舞の葉数の推移
（長岡市）

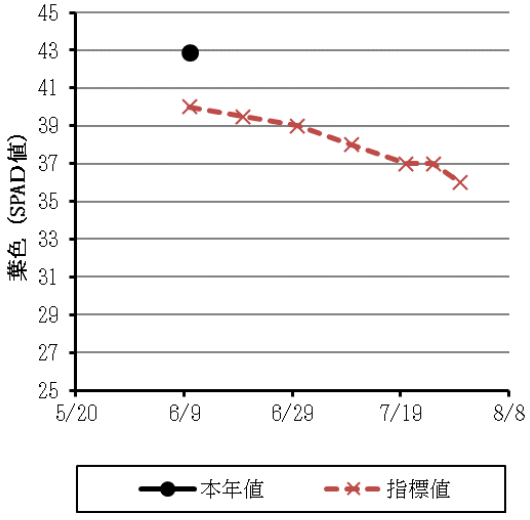

図 14　ゆきん子舞の葉色の推移
（長岡市）

表４　こしいぶきの生育調査ほ調査結果（６月 10 日現在）

項目	**本年値**	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	**29 cm**	26 cm	長い	112%
茎数	**441 本/㎡**	307 本/㎡	多い	144%
葉数	**8.0 葉**	7.5 葉	やや早い	+0.5 葉
葉色 (SPAD 値)	**41.7**	39.5	濃い	+2.2

注１）化成肥料栽培。田植え５月 10 日、栽植密度は 19.6 株/㎡
注２）基肥窒素成分量　3.0kg/10a
注３）長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

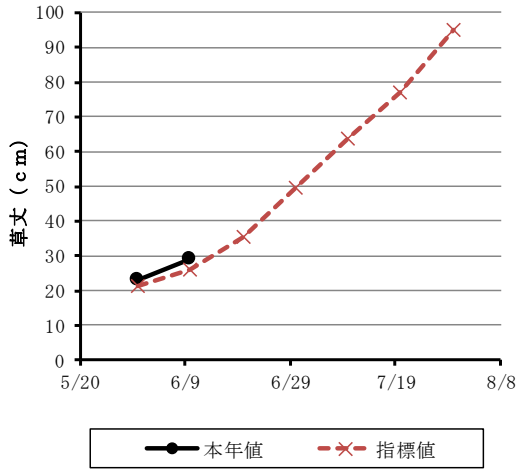

図 15　こしいぶきの草丈の推移
（長岡市）

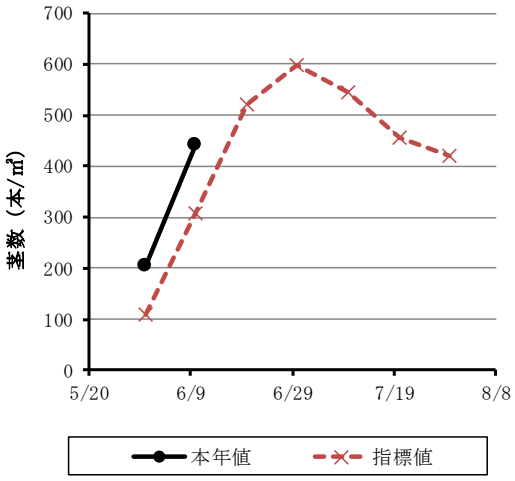

図 16　こしいぶきの茎数の推移
（長岡市）

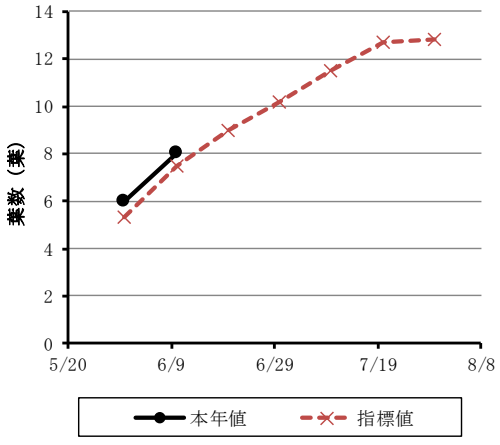

図 17　こしいぶきの葉数の推移
（長岡市）

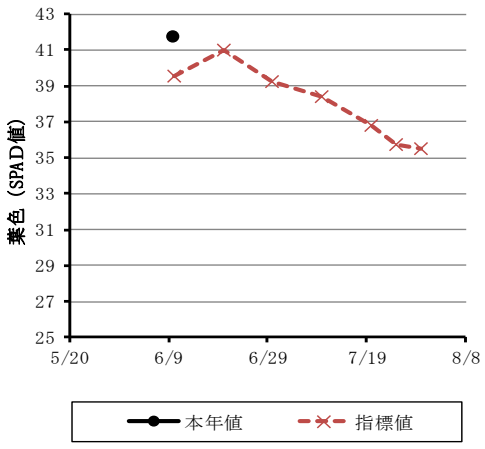

図 18　こしいぶきの葉色の推移
（長岡市）

2　地力窒素（ちりょく）の発現状況

○　５/30～６/９の日平均地温は平年より約 1.4℃高く、地力窒素の発現量は化学肥料区、堆肥区ともに平年より多い（表５および図 19～21）。

表５　地力窒素の発現状況（農総研基盤研究部調査）　　(mgN/100g)

調査日		５月 29 日①	６月９日②	地力窒素発現量※1 (③＝②－①)
化学肥料区	本年値	4.7	5.5	0.8
	前年値	4.5	4.9	0.4
	平年値	2.8	3.4	0.6
堆肥施用区	本年値	5.3	6.2	0.9
	前年値	4.6	5.2	0.6
	平年値	3.5	4.1	0.6

※1　小数点２ケタ目の四捨五入の関係で、表中の数値の引き算と合わない場合がある。

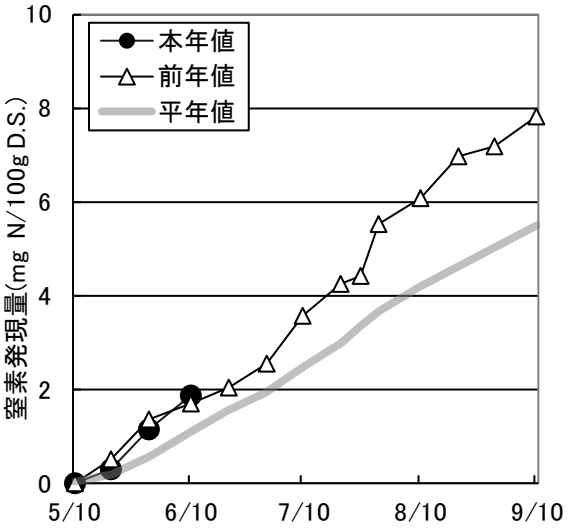

図 19　地力窒素の発現推移
（化肥区；初期値を０とした）

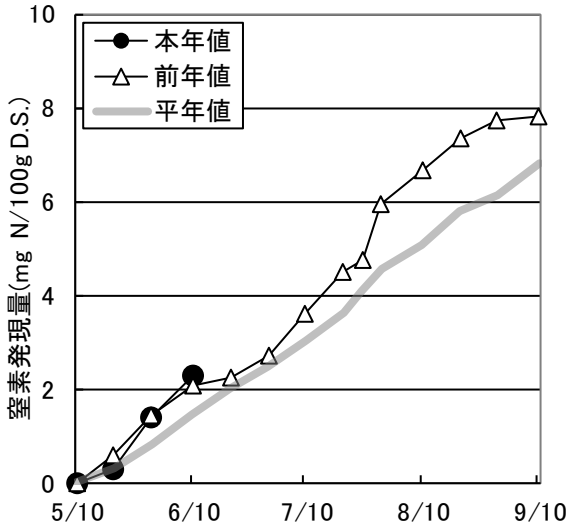

図 20　地力窒素の発現推移
（堆肥区；初期値を０とした）

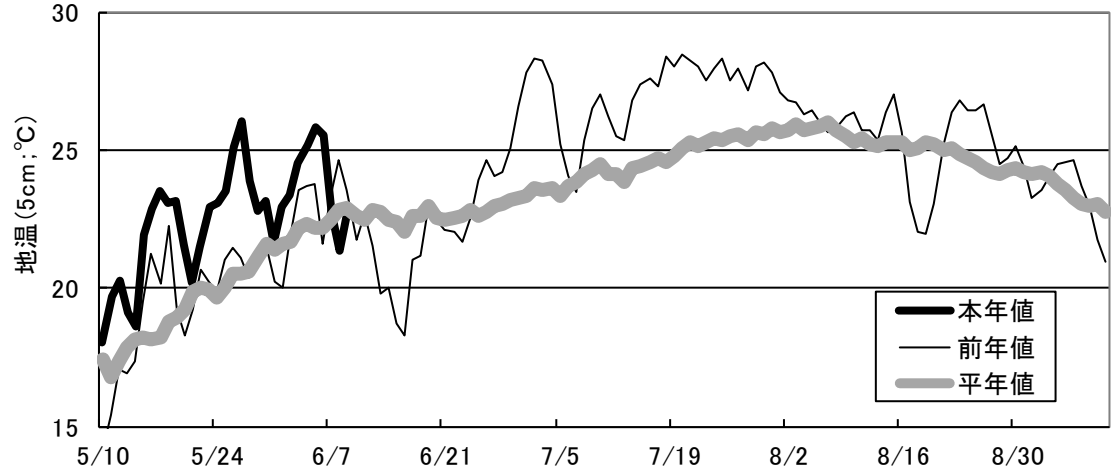

図 21　地温（５cm）の推移